

養生所(長崎)医学校等遺跡の保存・保護・整備公開に関する陳情書Ⅵ

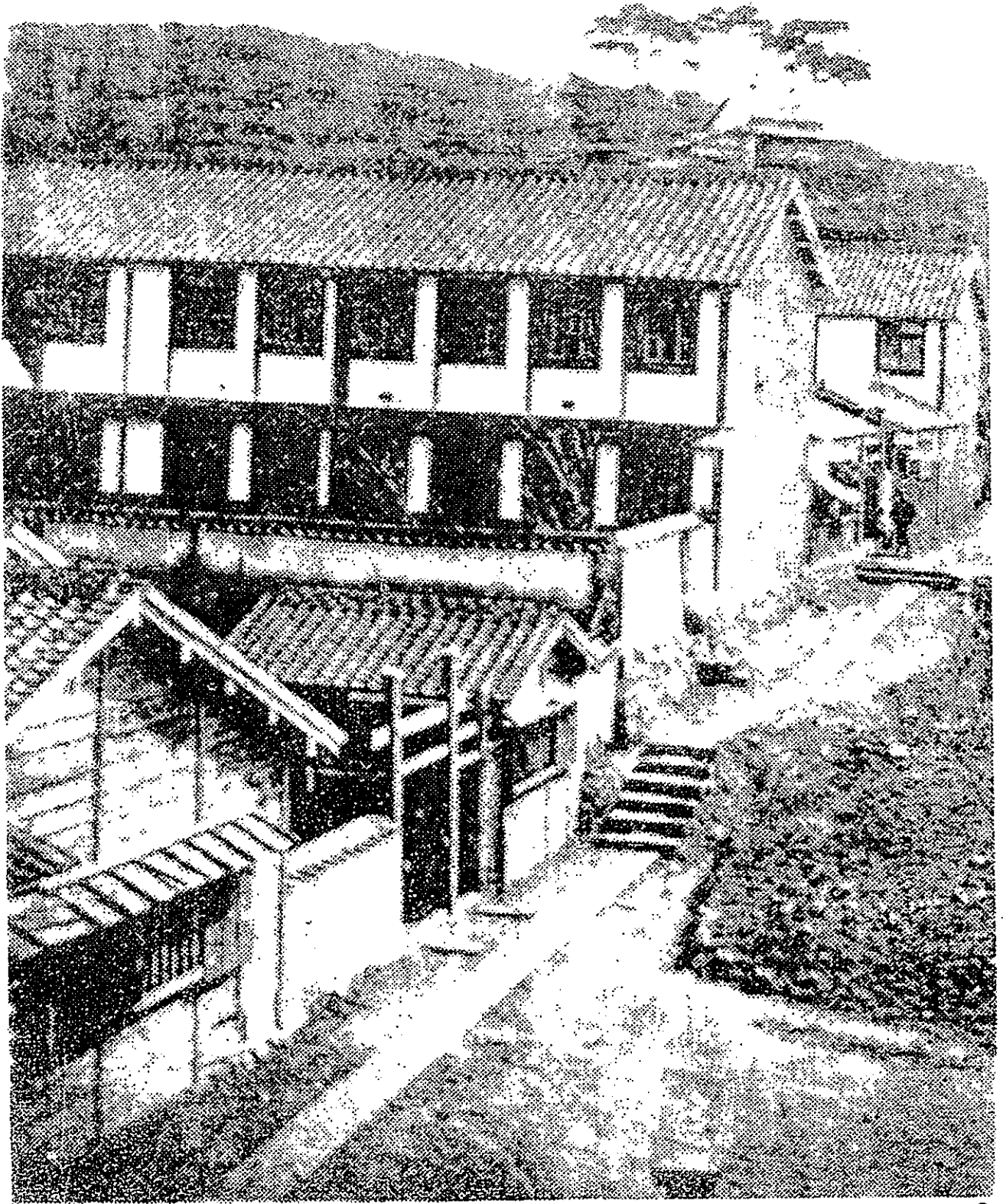
審査当日配布資料 2

2017年(平成29年)12月8日金曜日

養生所評議会代表 池田和恭

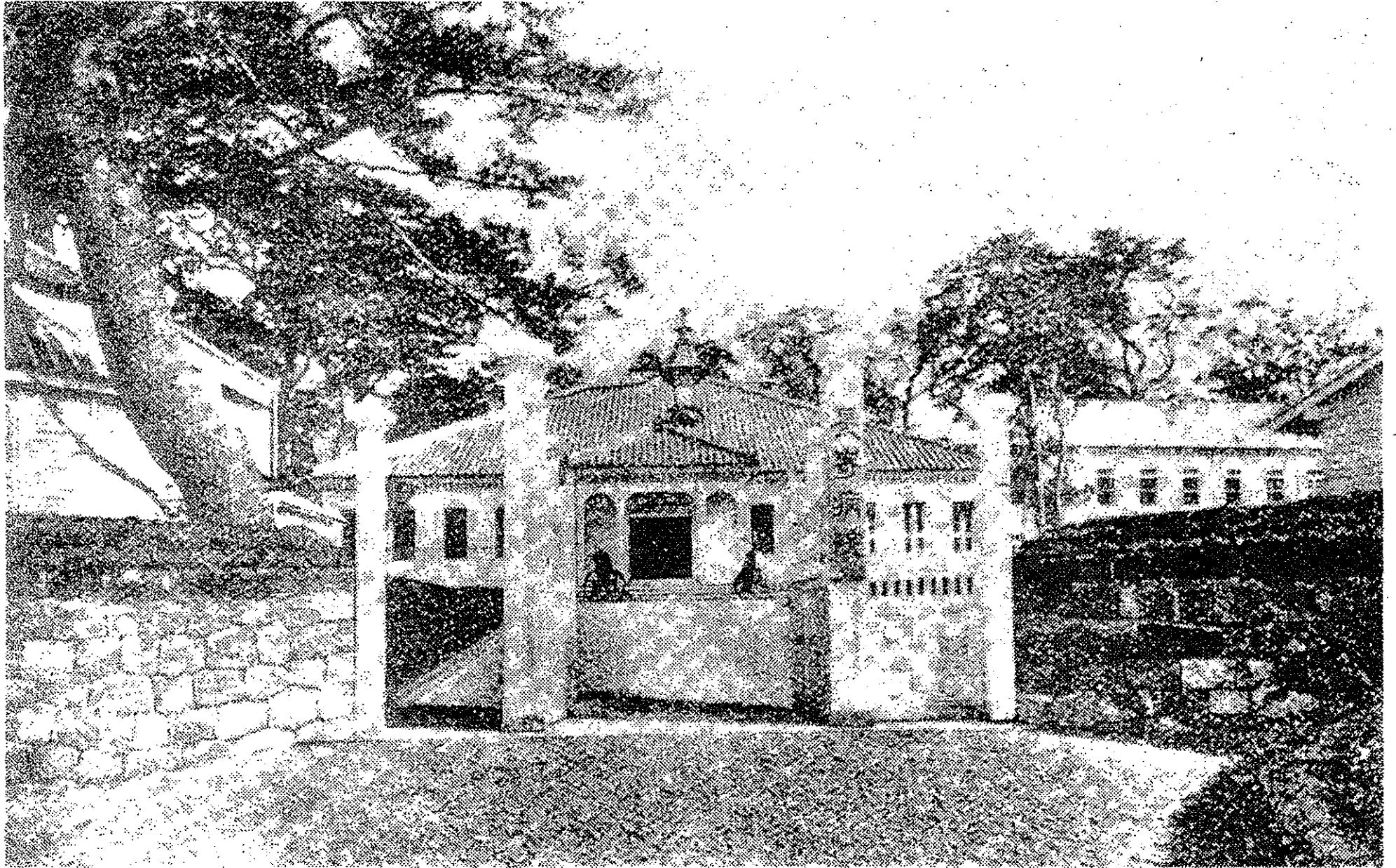






第1図 養生所の写真。Pompe v. M
の『日本における5年』の挿絵より数
年後に撮られたもの。病院名は既に精
得館と変っていた。前方の入口は医学
所のもの。(8)

(8) 桑城の地名、西條行徳下在崎村小島藩子住で、現在、長崎市
西小島二丁目八番一号の佐田小中校の校舎を遺跡として保存
から別棟が養生所の跡地で、本館の地(七番一丁目)とのエ
間の道路は、二の一番に医学校があった。医学校から一
段下で今新聖所があり、写真は二の段上の地(七番一丁目)から
撮ったものと思われる。



明治初年の長崎病院

『長崎政界』昭和十一年三月三十一日発行の録

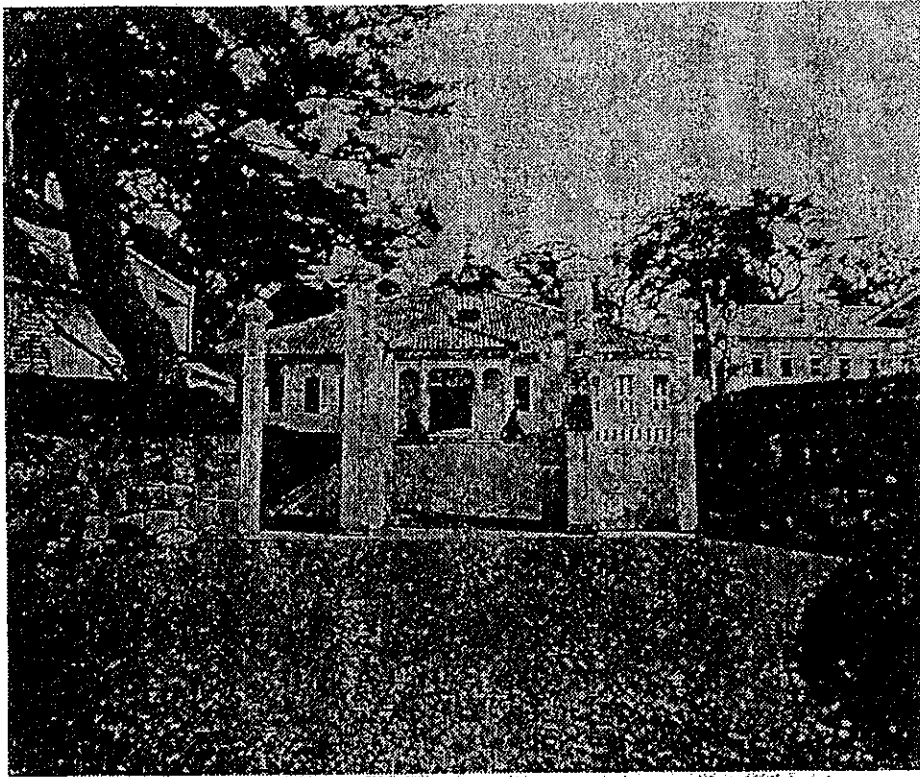


図1 大徳寺跡の県立長崎病院（再掲）

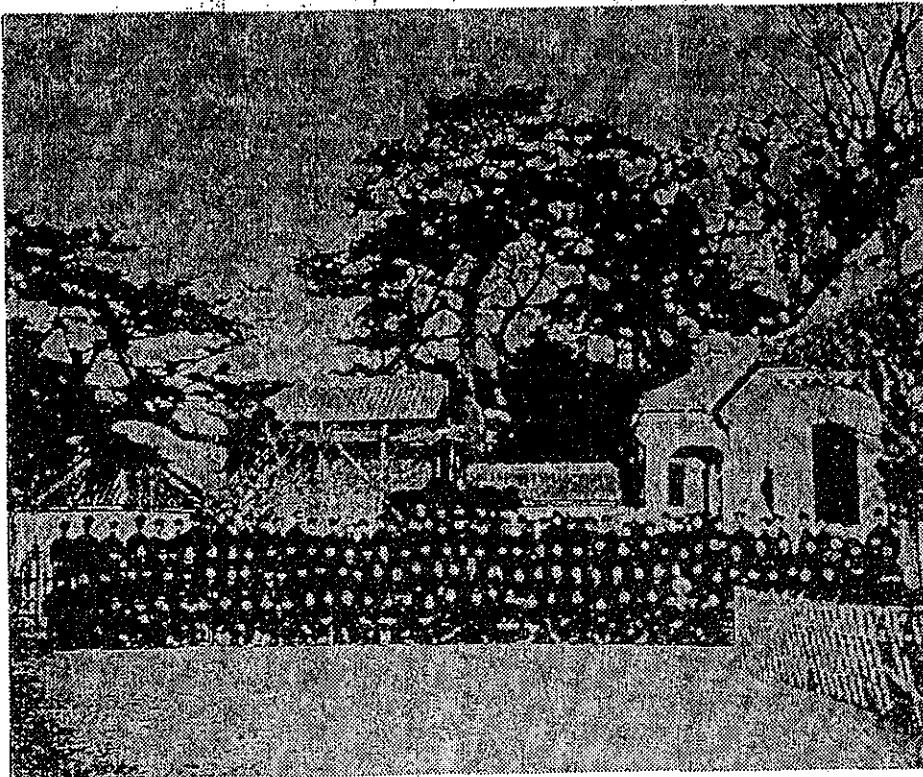


図2 長崎病院玄関前の職員と生徒

長崎談叢 第六十九輯 昭和五十九年十二月二十日発行 (P195)
『明治中期、佐々施設使用時期の長崎医学校と県立長崎病院』青木義男

長崎設校 第六十九輯 昭和五十九年十一月十日発行 (P140)
昭和三十九年、佐世施設使用時期の長崎医学校と県立長崎病院の青木善男

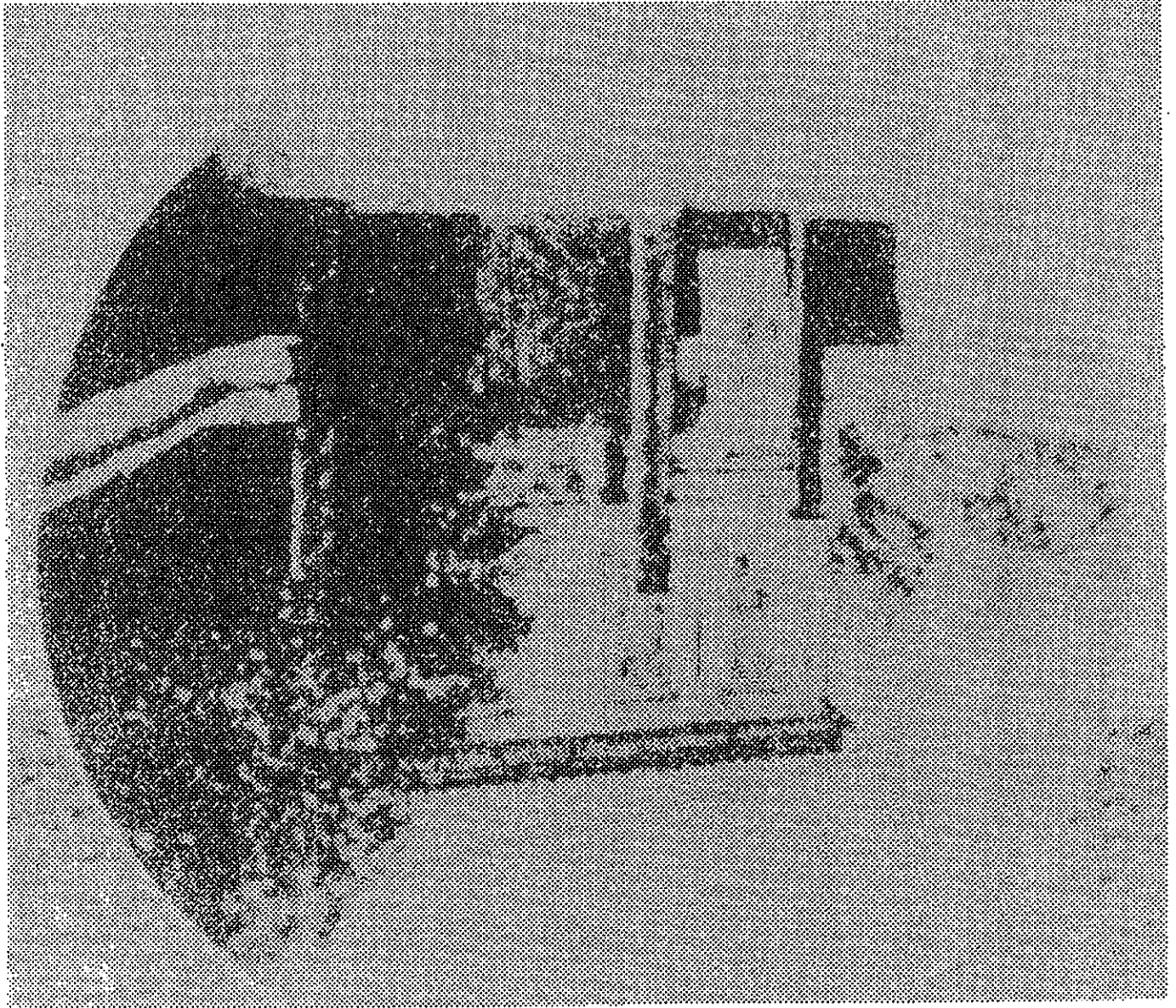
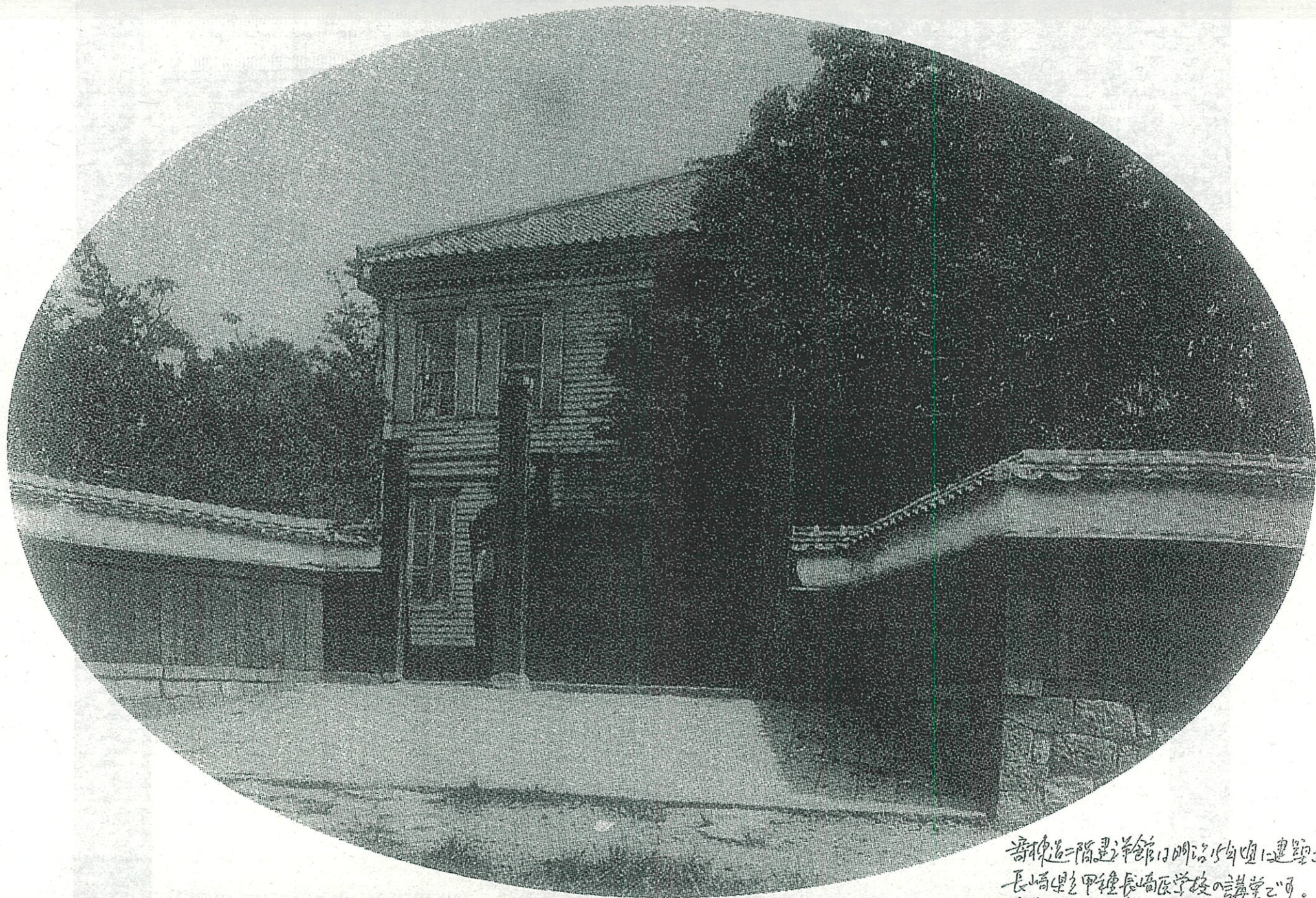


図3 甲種長崎医学校正門と校務室（階下）
および新講堂（階上）



明治24年から明治35年頃までの間に
撮影された写真と推測される。

佐古分校 大正6年(1917)卒業アルバム

新築された階建て講堂は明治15年頃に建てられた。
長崎県立甲斐長崎医学校の講堂である。
明治24年に医学校が浦上山里村に移転した。後
明治35年に明治12年に大徳寺跡地に建てられた
長崎病院が浦上山里村に移転して、敷地と
講堂と同一所を野に建物は分校場として使用された。

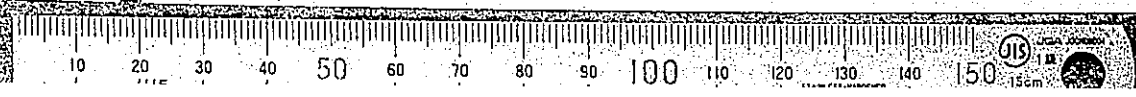


765 View of Nagasaki



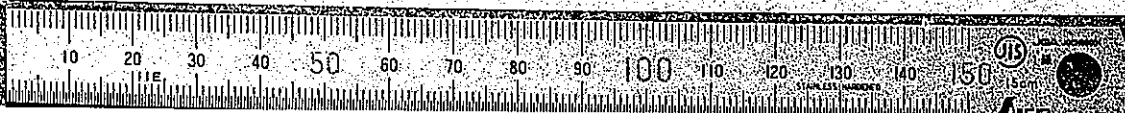


第一回卒業生
明治四十二年三月

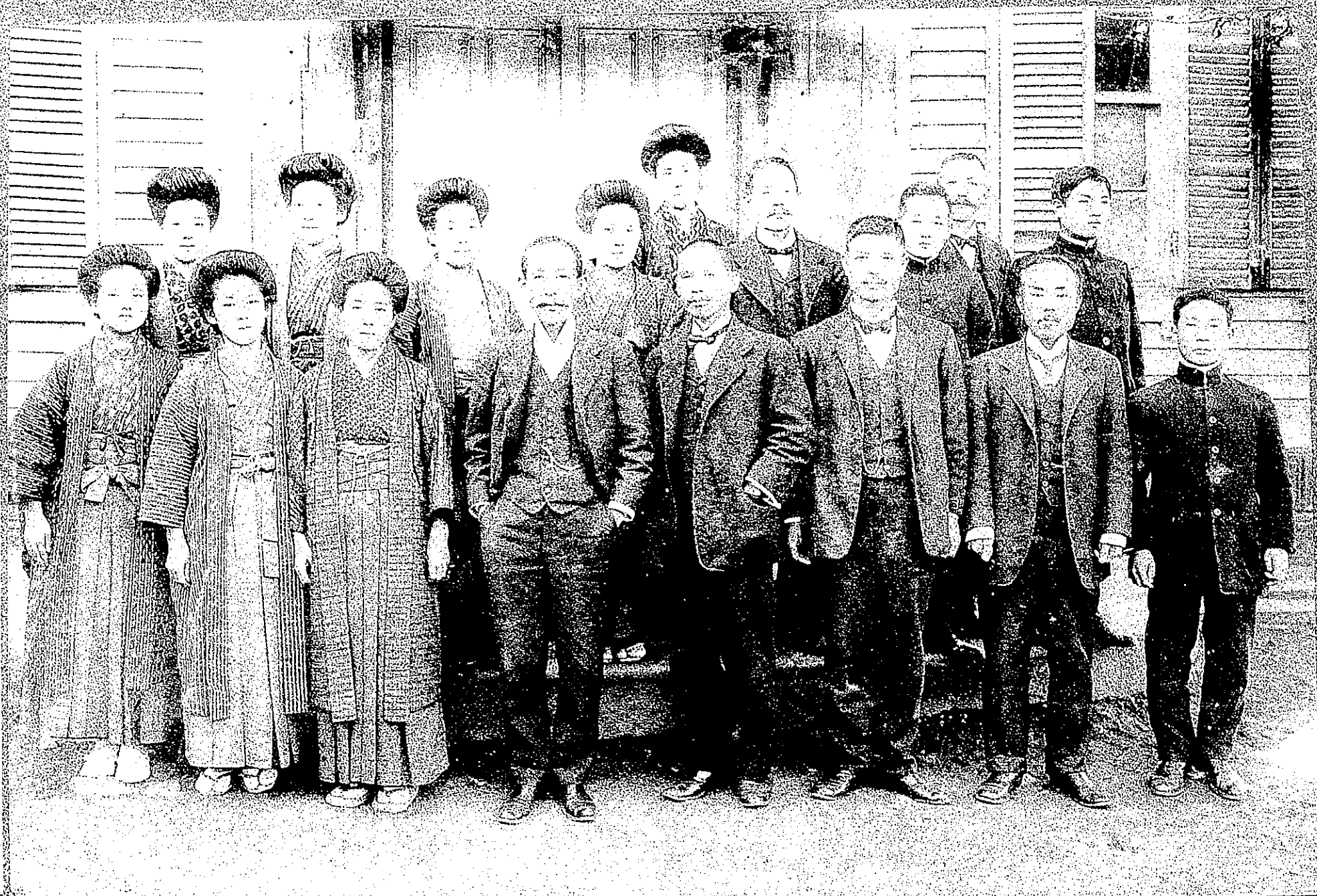




第二回高等科卒業生
明治四十五年三月

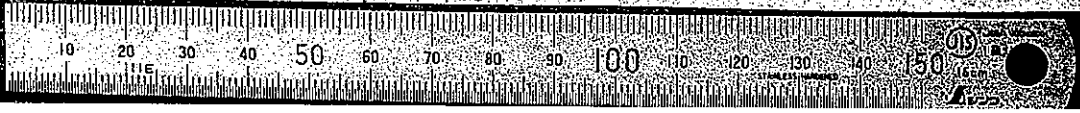


大正元年十月現在職員





第四回卒業生
大正三年三月





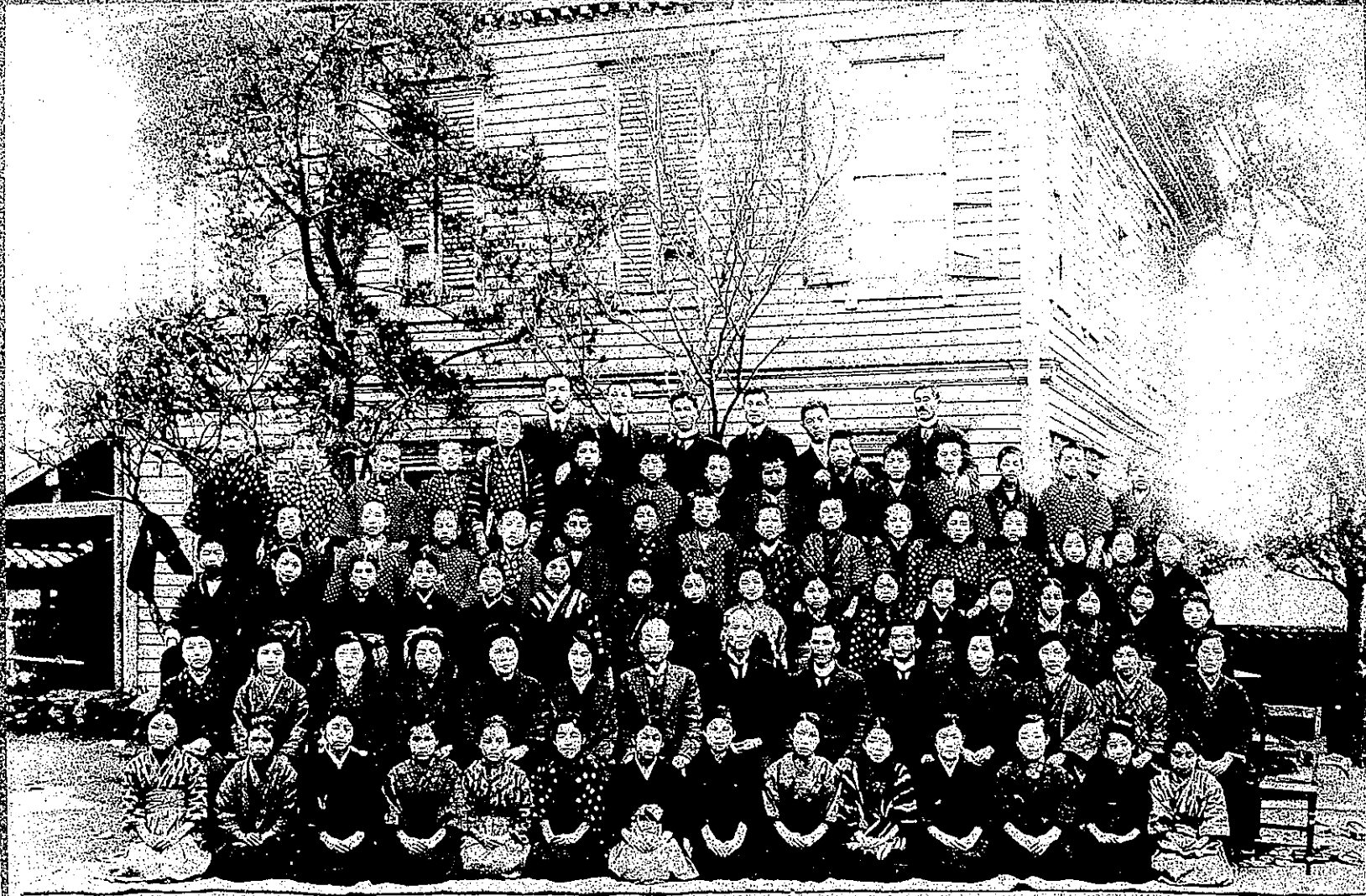
第14回卒業生 大正十年三月





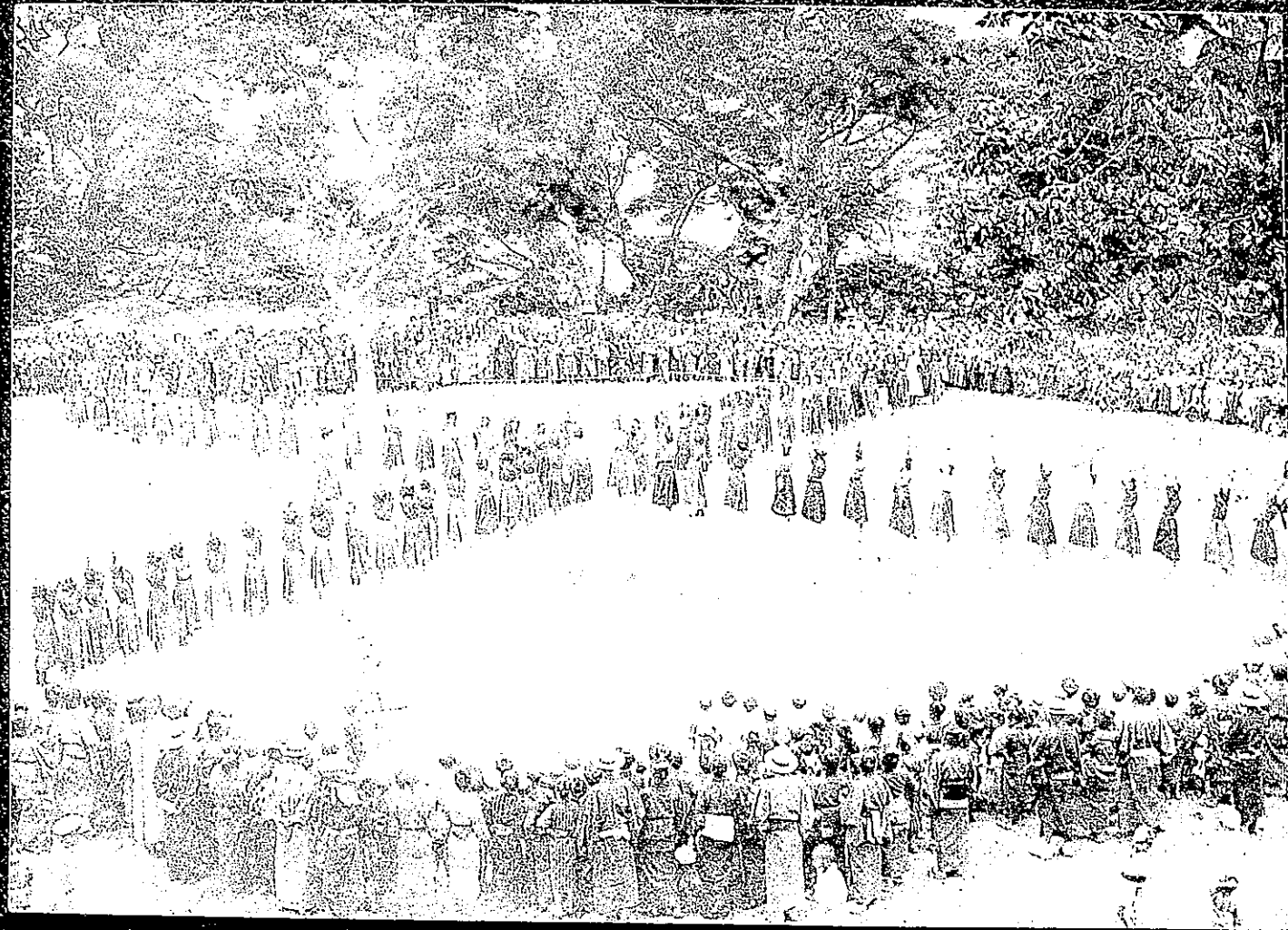
第14回卒業生大正十一年三月





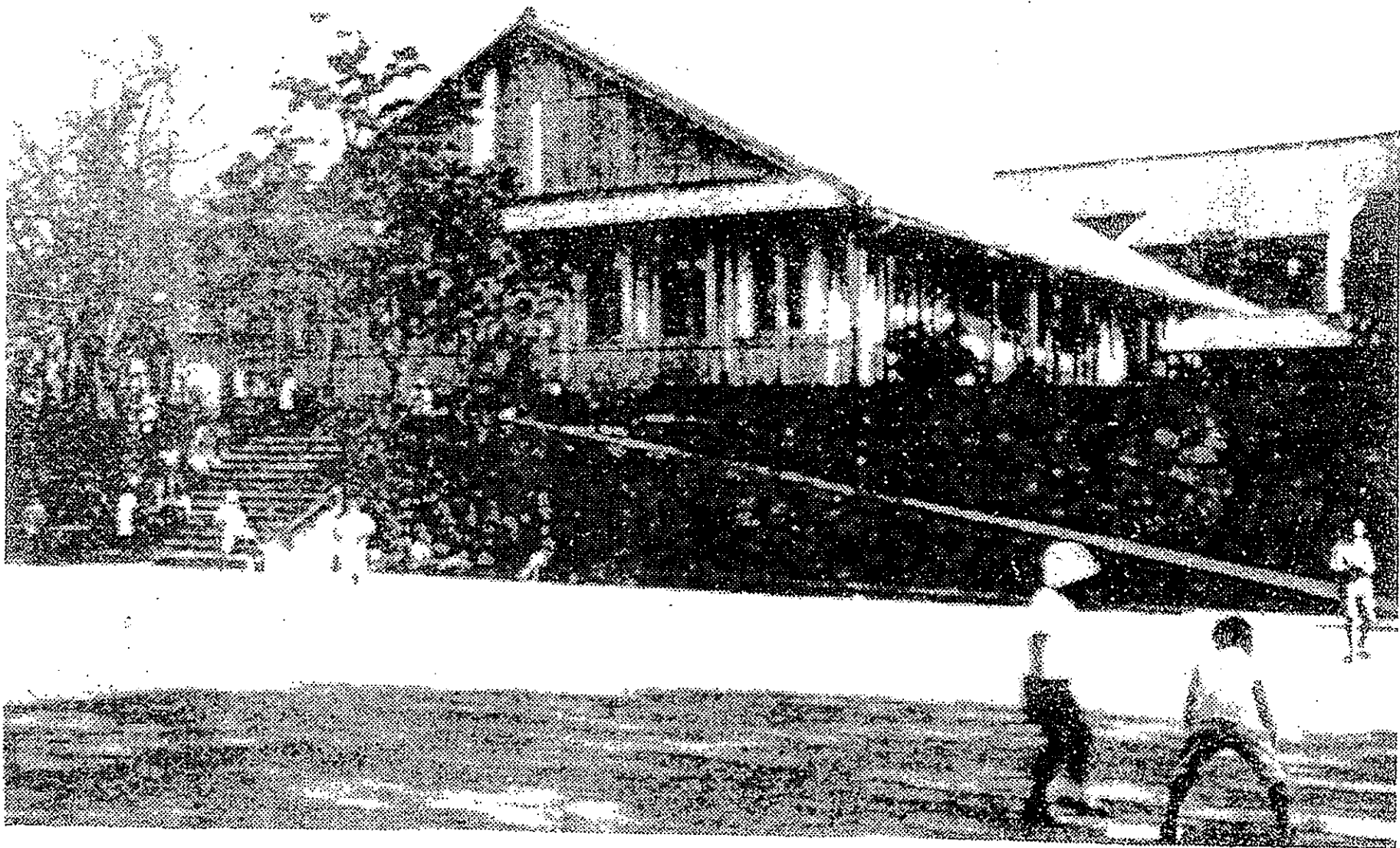
第十二回卒業生 大正十年三月





中國圖書公司





第3図 1865年建築の分析究理所の近影。
 小学校の運動場の一侧に今日なお残っている。

長崎談叢 第六十八輯 昭和五十七年十一月十五日発行 (P10)
 長崎医科大学諸教授の医学史と学伝史に関する英文論文の
 青木義勇訳述

(11) 高木教授はカメラ愛好家で、撮影中にはカメラをミレリ、ネ
 持参して見物、撮影中旅費とかがわら、新聞社になった題
 を記しておられる。この分析究理所の写真が二頁のスクラ
 プであることは間違いない。因所の昭和十五、十六年頃の現在
 位置を示す位置図におけるその位置、地質の形、石垣の形
 などを示す位置図を引いている。後方の建物は同校の建
 物の一つである。



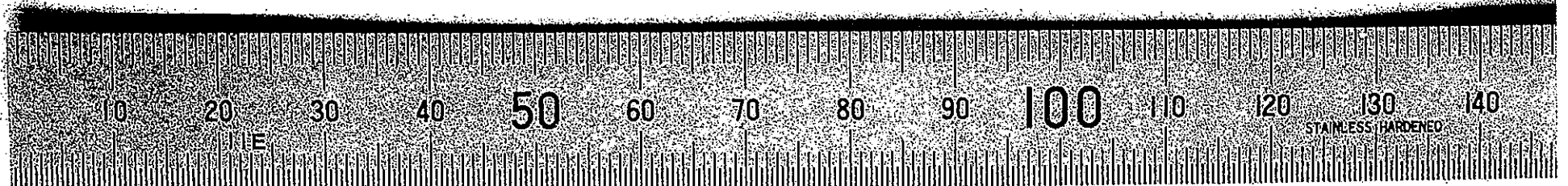
第二十五回尋常科卒業生
昭和十三年三月

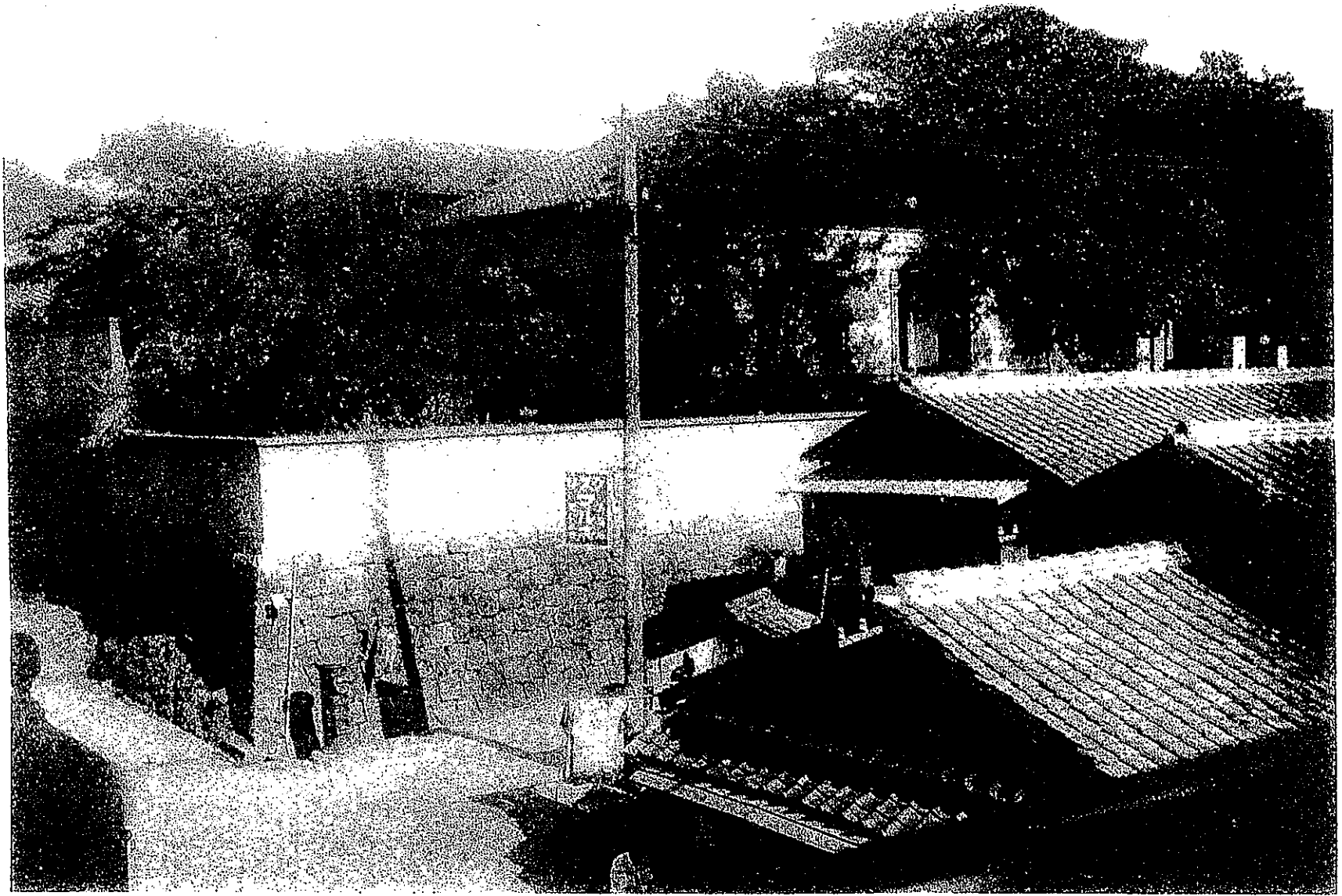




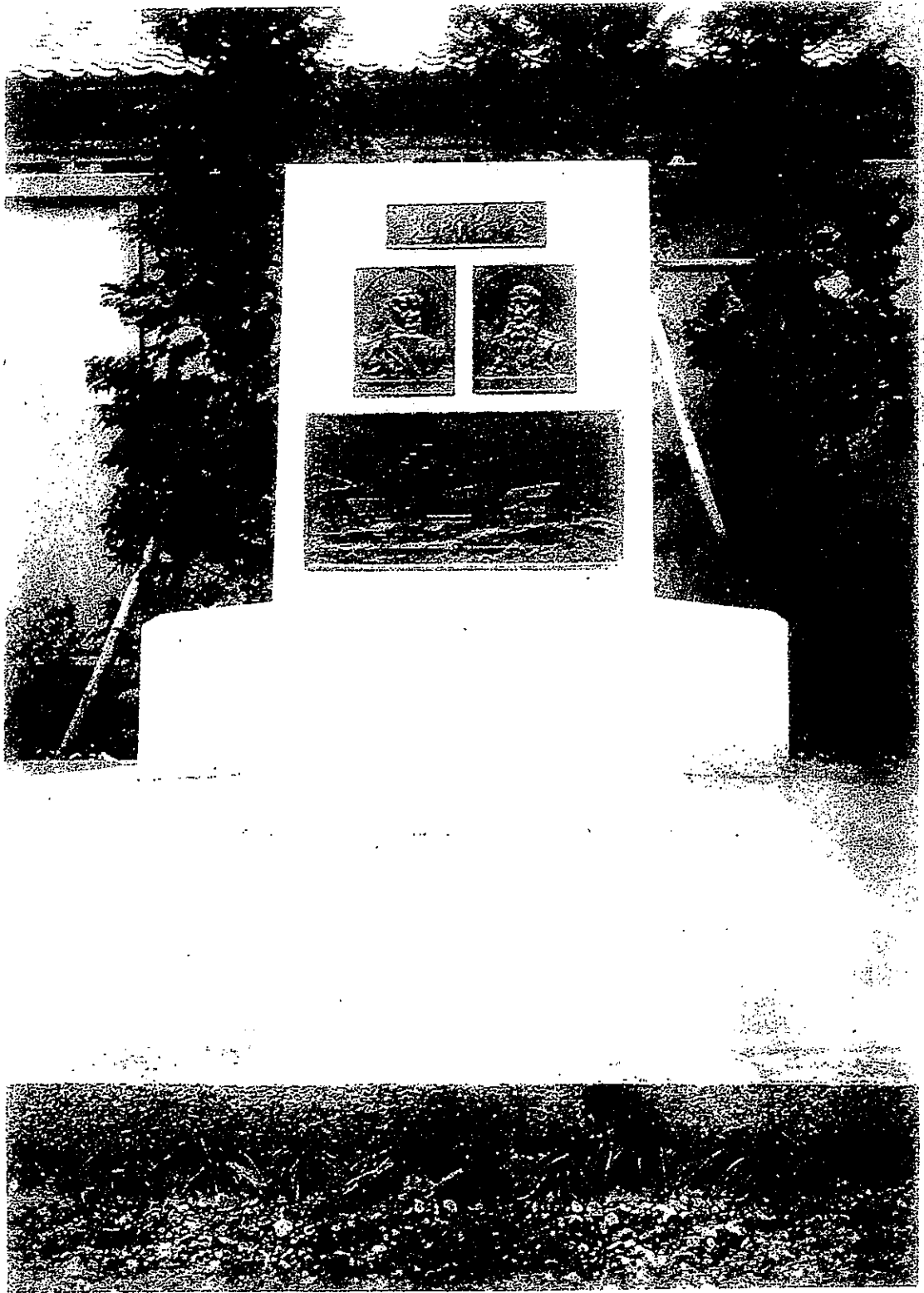
現佐古小學校校舍一部
元分橋窮理所(平屋百二十坪)

(昭和十一年三月十一日長崎要塞司令部檢閲済)





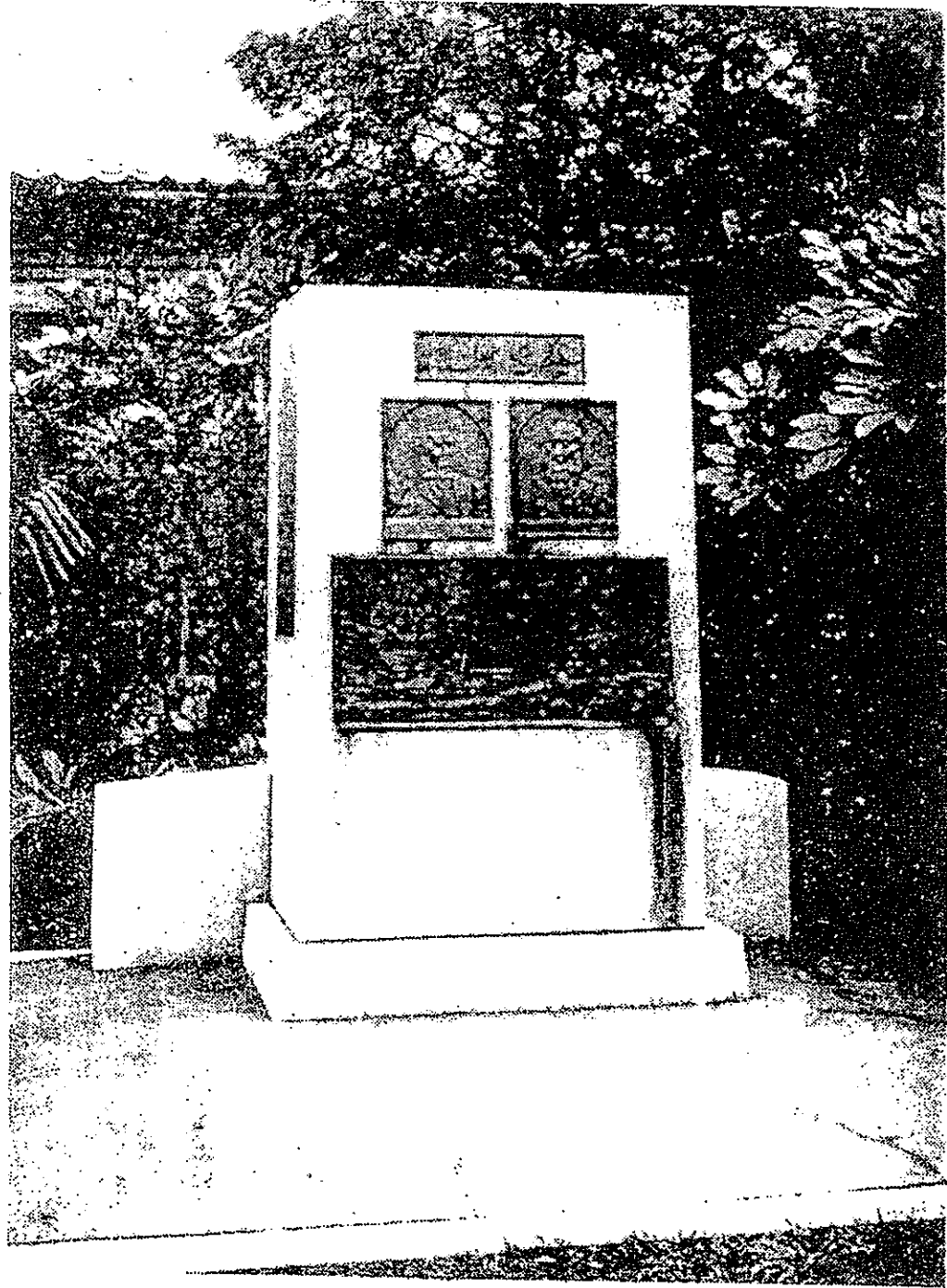
(院病島小合組健保崎長現) 跡遺地祥發學醫洋西



(一の其) 碑念記内構地祥發學醫洋西



(二の其) 碑念記内構地祥發學醫洋西

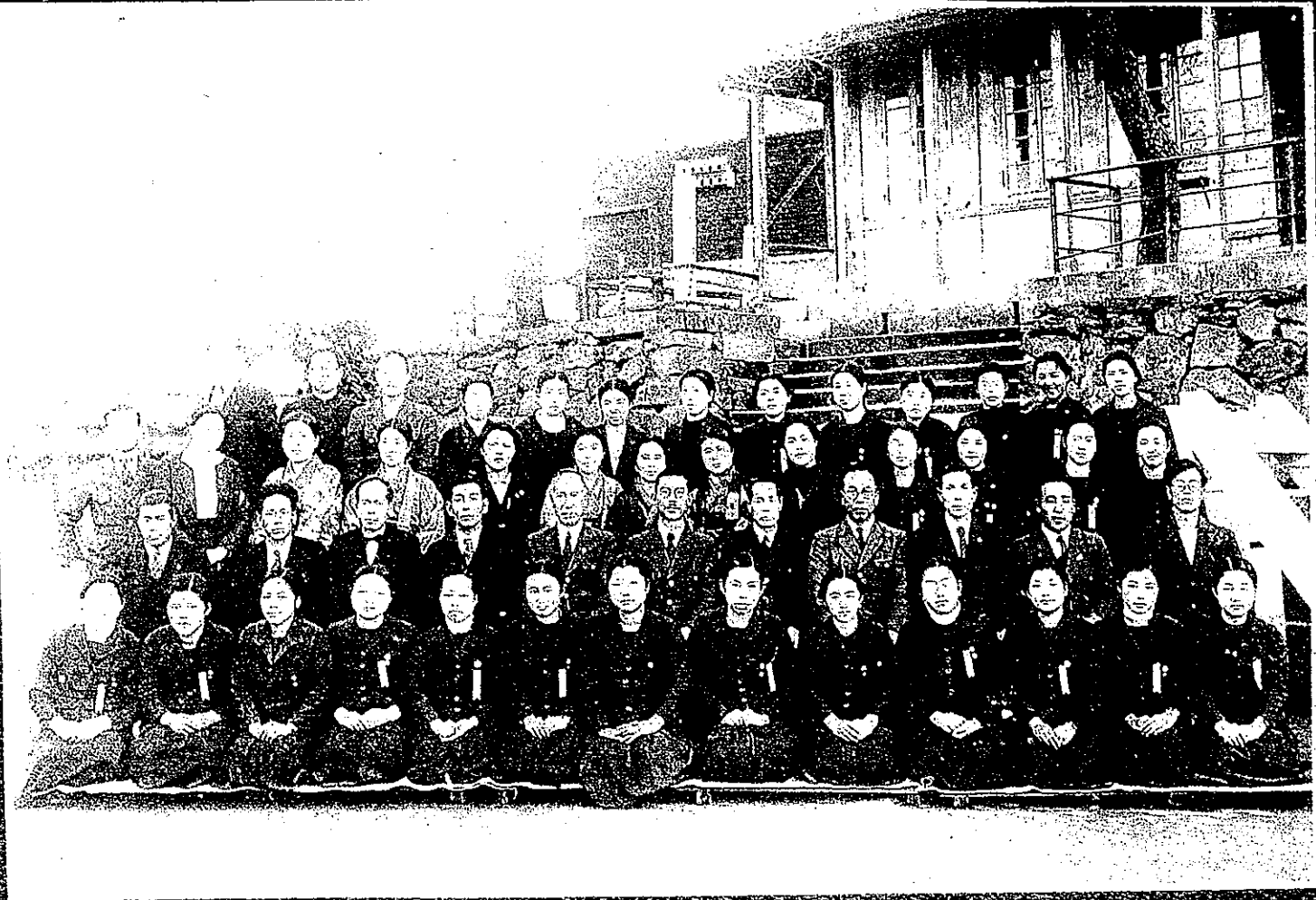
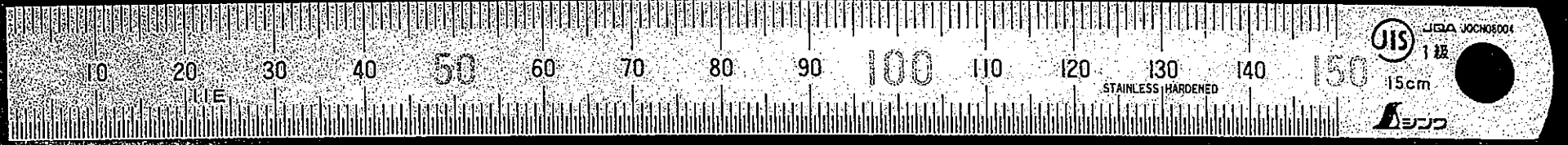


第4図 養生所の記念碑。
 前面のブロンズレリーフ：
 下は Pompe v. M. の『日本
 における5年』の挿絵による
 病院の全景，上左は Pompe
 v. M. 自身の像，上右は
 Pompe v. M. の最初の生徒
 で，後の日本の初代の軍医
 総監，この病院の創設時は
 彼の助手として抜群の働き
 をした松本の像。碑石の片
 面にはオランダ大使 J. C.
 Pabst の，次の意味の詩が
 彫ってある。

急流を溯る鯉の如く
 国の牆を越えて
 進む科学は
 遂に普く世に輝く
 今日の師は
 明日の弟子たり
 今日の弟子は
 明日の師たり。

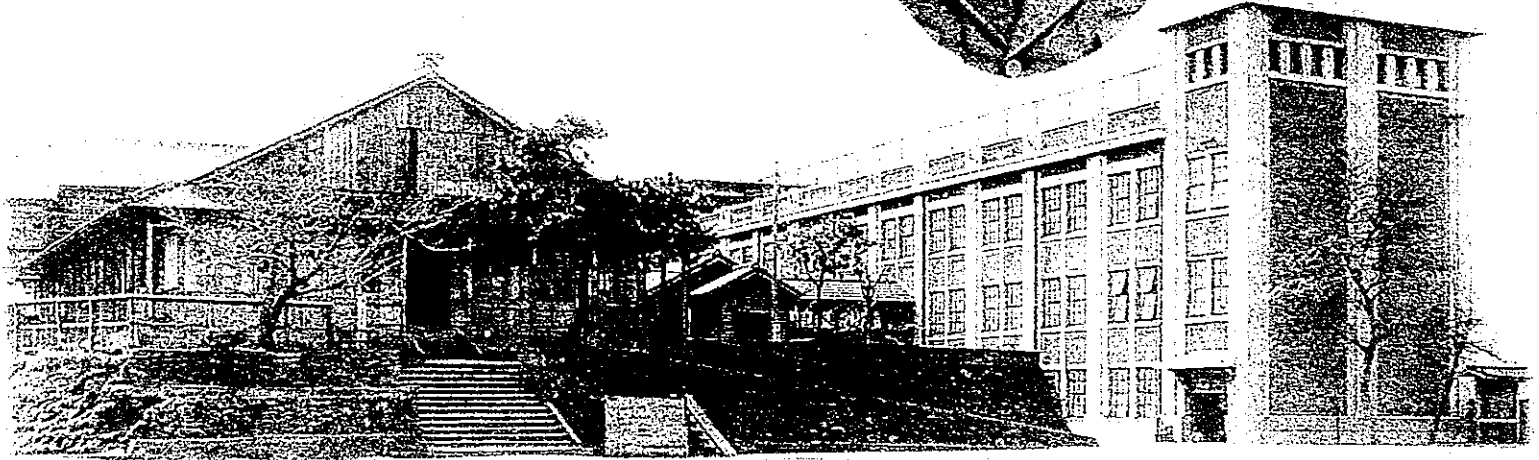
(13) 現在の佐古小字別荘の地、石段を昇ったすぐ左手にあった。
 法方には当時のこの碑の寸ぐさまで水浸痕が延びていた。
 この碑は昭和三十一年長崎大学構内に移され、代りに原碑
 のブロンズ中核と近縁が新しい法字長塚「養生所」を主体
 にして新記念碑が、場所を変え、同校本館運動場に面する五
 角形基に設置された。

長崎談叢 第六十六輯
 昭和五十二年十一月十五日発行 (P10)
 『長崎医科大学諸教授の医学史と
 洋学伝承史に関する論文』
 青木義勇 訳注

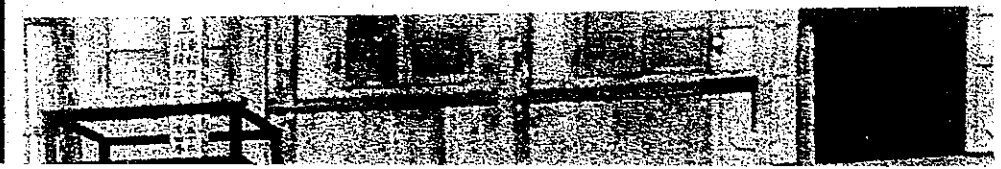
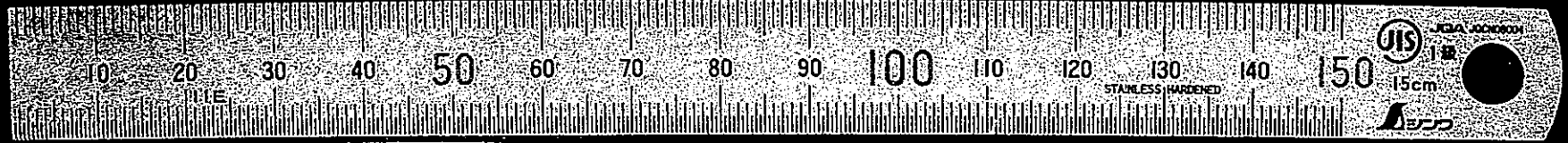


縣立高女專攻科生 昭和十四年一月

昭和十六年三月 清水校長卜校舎

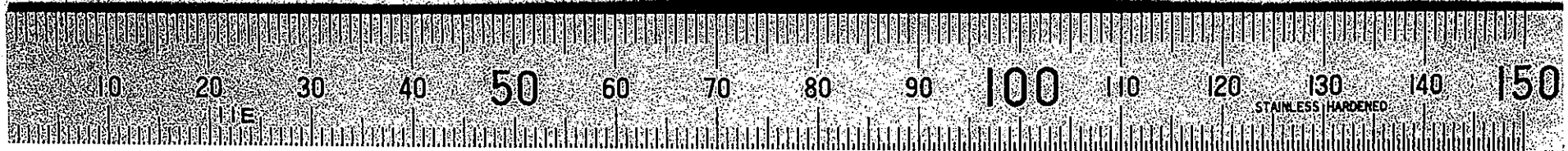


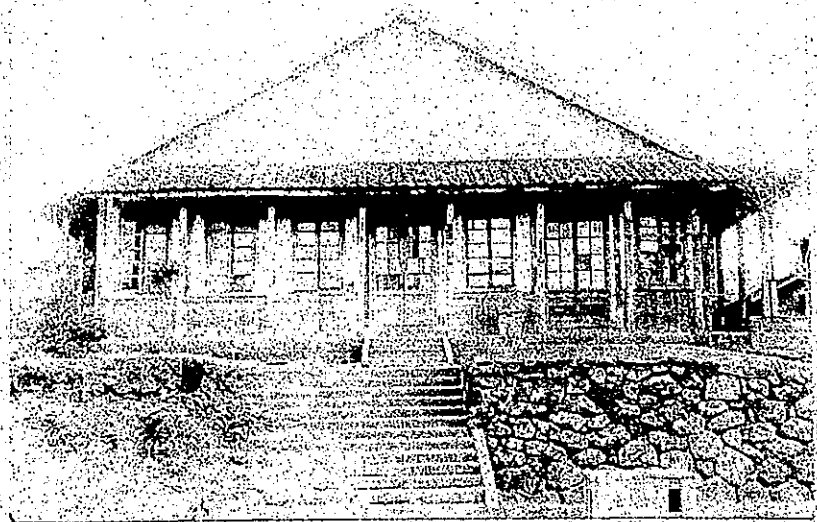
昭和十六年三月





二三年

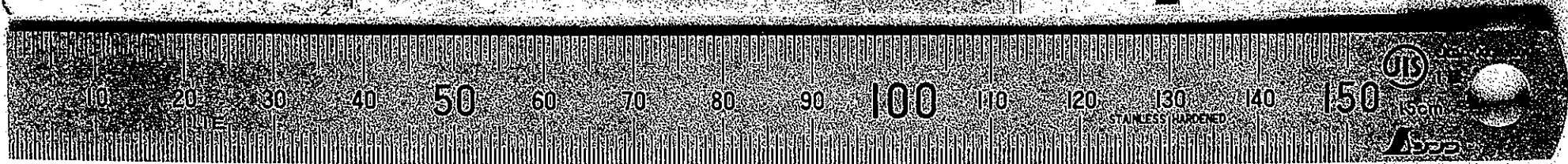
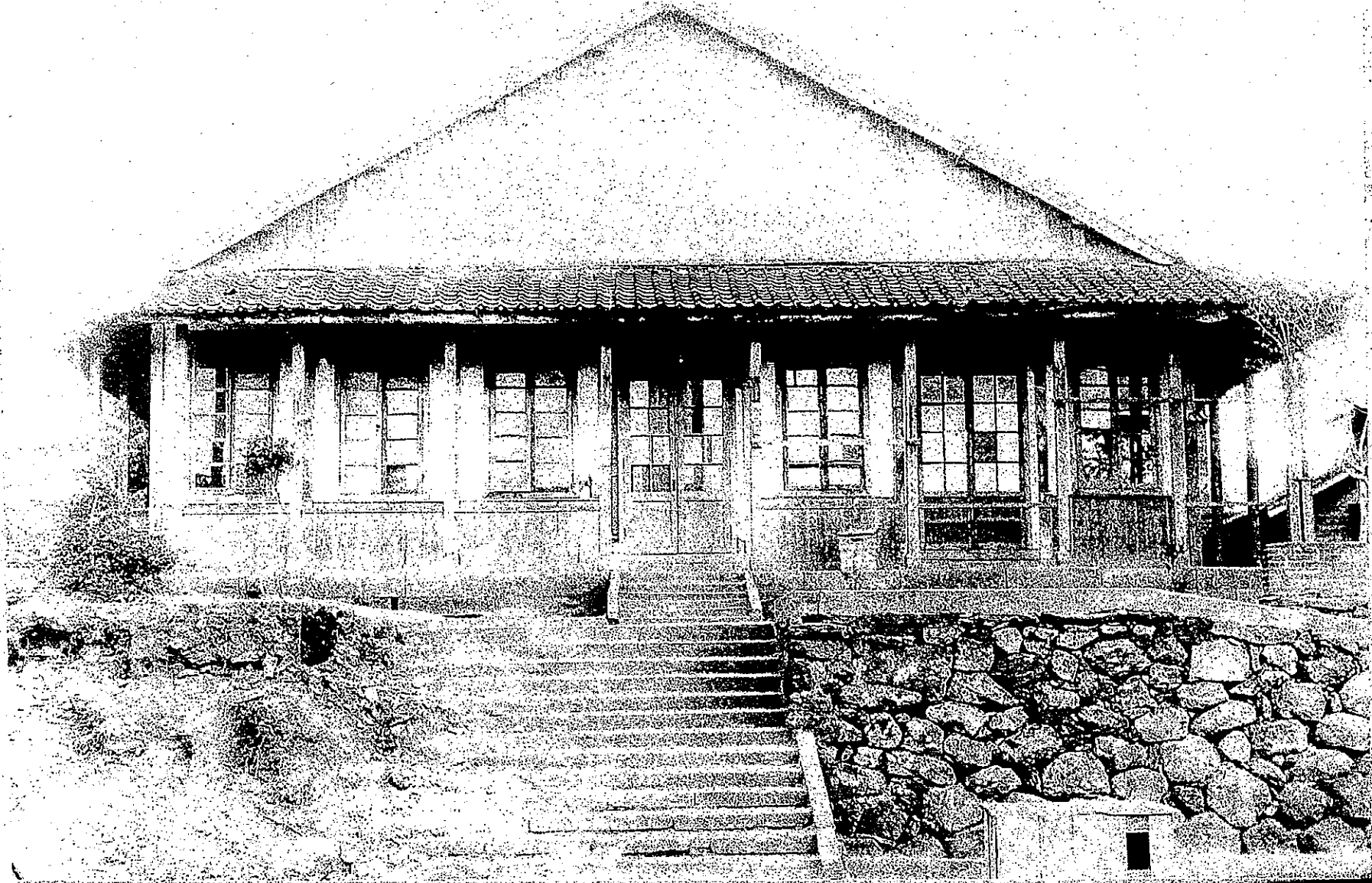


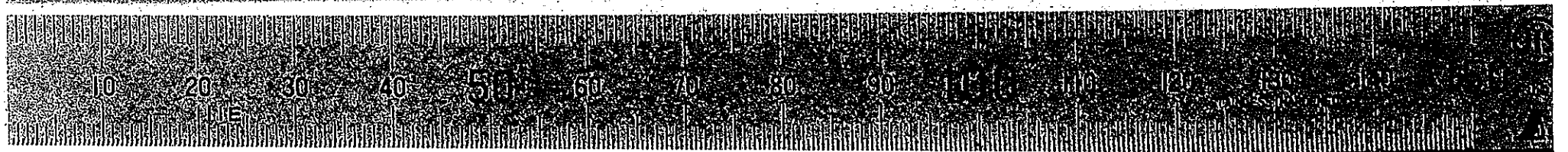
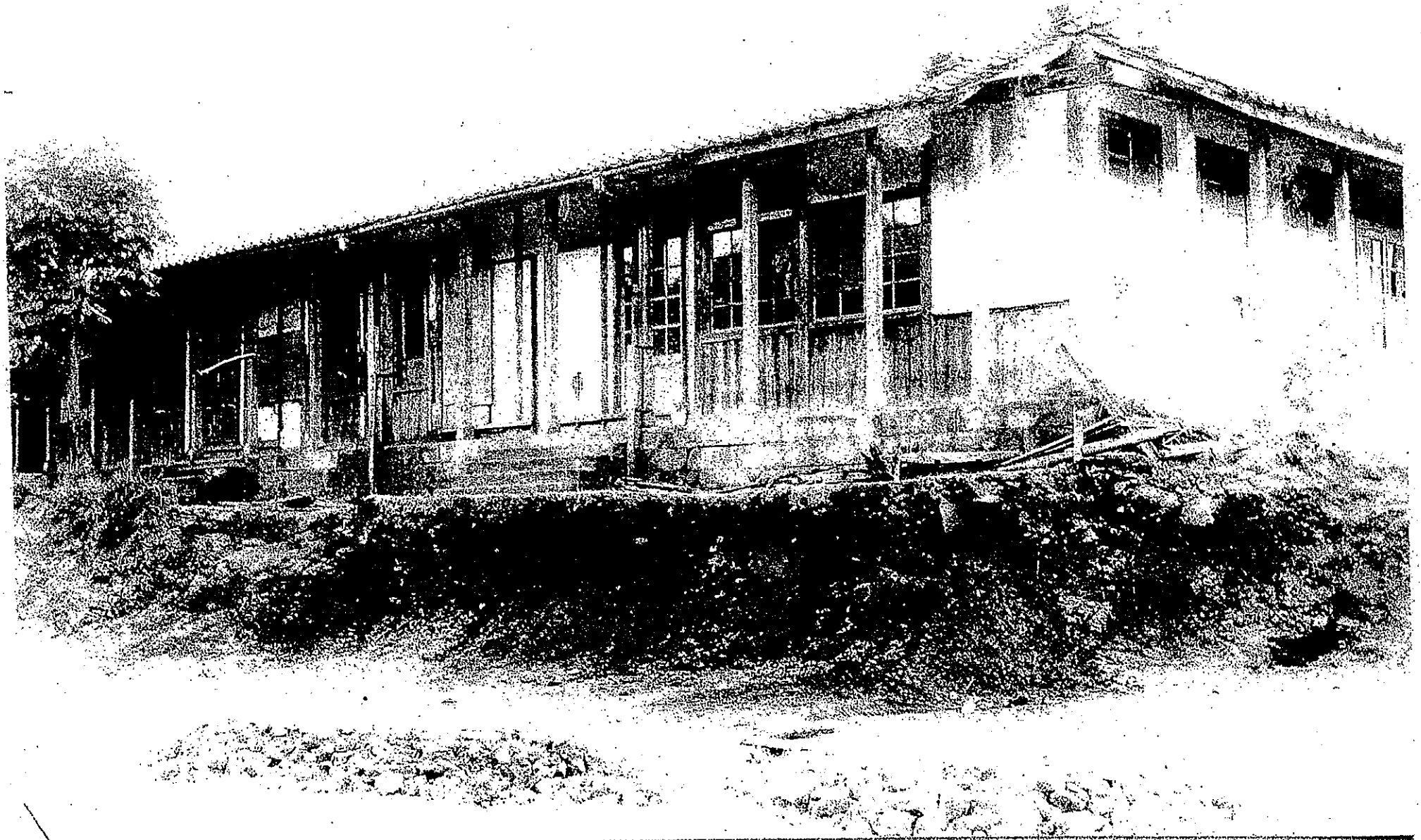


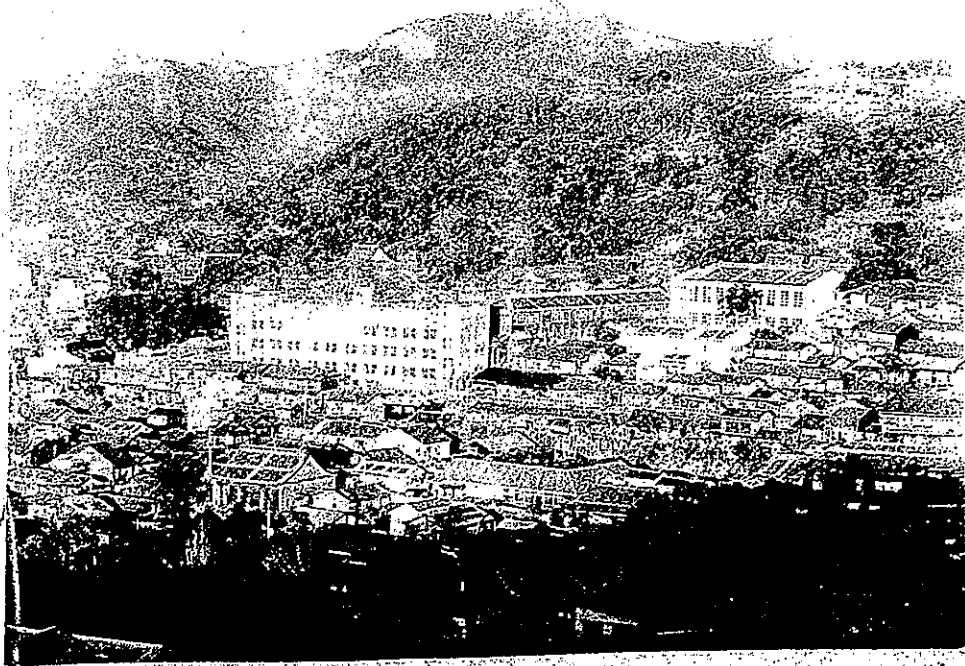
昭和十五年九月二十一日
解体

加賀屋敷









昭和四十年頃
佐古小学校

